

九州広域行政機構（仮称）の考え方

H24. 2. 16 九州地方知事会

九州地方知事会では、地方に受皿がないことを理由に国が出先機関の権限移譲を拒んできた従来の状況を打破し、九州地域の活性化と住民福祉の向上を第一に、分権型社会確立に向けた突破口を開く覚悟を持って、平成22年10月、国の出先機関を受け入れるための「九州広域行政機構（仮称）」の構想を発表しました。

1 「機構」設置（国出先機関の地方移譲）の目的

（1）政策判断への「地域ニーズ」の迅速な反映

- ・地域住民から選挙で選ばれた各県の知事や議員が「機構」の運営を行うことにより、九州が真に必要とする政策を見極め、地域ニーズに直結した行政サービスを提供することが可能になります。
- ・「機構」においては、九州自らが納得した形で、政策の優先順位づけをすることができるようになります（自己決定・自己責任）。

（2）政策の「総合性」の確保

- ・「機構」は、幅広い政策分野を担うものになることから、タテ割りが排除され、総合性を発揮できるようになります。
- ・また、「機構」と各県の政策との連携が密になることで、相乗効果を発揮できるようになります。

（3）「ガバナンス」の確保

- ・「機構」には、普通地方公共団体と同等のガバナンスの仕組み（二元代表制、外部監査制度、直接請求制度、住民監査・住民訴訟制度）を確保します。これにより、行政運営の透明性が向上し、地域住民の意思が反映されやすくなります。

2 「丸ごと」移譲について

国の出先機関の受入れに当たり、九州地方知事会では、出先機関の事務・権限・人員・財源等を、そのまま「機構」へ、「丸ごと」移譲することを強く求めています。

国の出先機関は、組織（有機体）として動いているからこそ機能しており、それを切り分けてしまうと、本来の力を発揮できなくなります。「丸ごと」移譲であれば、組織を分断せずに、出先機関の有機体としての機能を活かしたまま、住民ニーズに迅速かつ効果的に対応できます。

3 「機構」が移譲を受ける出先機関について

「機構」は、最終的には、九州内の全ての出先機関（7省11機関）を受け入れることを目指していますが、国の出先機関の移譲を確実なものとしていくため、当面、移譲対象を絞り込むことが現実的であると考えました。

そこで、地域の活性化に関わりが深く、地域において重要な役割を果たしている九州経済産業局、九州地方整備局、九州地方環境事務所の3機関を先行して移譲するよう、国と協議を進めています。

- ・九州経済産業局 [経済産業省]
産業・エネルギー政策や中小企業の振興 等
- ・九州地方整備局 [国土交通省]
経済発展の基盤となる社会資本整備 等
- ・九州地方環境事務所 [環境省]
国立公園等を活用した観光政策 等

4 国の出先機関が廃止されることに対する懸念への対応

(1) 基礎自治体（市町村）との関係

九州広域行政機構（仮称）は、国の出先機関を「丸ごと」受け入れるものであることから、現在の「出先機関」と「基礎自治体」との関係が、そのまま「機構」と「基礎自治体」との関係に置き換わるものであり、統治機構の体系が、現行から大きく変わるものではありません。

むしろ、「機構」は、現在の出先機関よりも地域の声を反映しやすくなるとともに、基礎自治体との関係がより緊密になることで、政策の連携も深まるものと考えています。

(2) 大規模災害時等の緊急時のオペレーション

「丸ごと」移譲が実現すれば、現在の出先機関の専門性・機動力等がそのまま「機構」に移ることになるため、現在の出先機関が担っている役割を果たすことは十分に可能です。

また、緊急時には、現行の消防組織法等における国から地方公共団体への「指示」の仕組みを基本として、国が「機構」に対し必要な指示等を行うことができるよう制度上担保しておけば、全国の他の出先機関との人員・資機材の相互動員といった対応も可能です。

平時からの国との意思疎通や国による現地状況の把握も重要ですが、国との人事交流や連絡調整等のための会議の開催、共同の防災訓練などの運用面により対応可能と考えています。

このような九州地方知事会の考え方が制度設計に反映されるよう、引き続き、国に求めていきます。

(3) 財源

国の出先機関が地方に移譲されてしまうことで十分な財源が確保されなくなり、地域間格差がさらに拡大してしまうことを懸念する声があります。国の責任において財源が確保されることは、地方が出先機関の移譲を受ける前提となるものです。

九州地方知事会では、必要な財源については、事業費と人件費を明確に区分した上で、その全額が国から措置されるべきこと、また、それを法的に担保することを主張しています。引き続き、この主張が制度設計に反映されるよう、国に求めていきます。